

学年	単元名	児童	場所	指導者
1年	「3つのかずのたしざん、ひきざん」 (教育出版 1年)	1年3組 32名	1年3組教室	東 大樹 (T1) 寺口 翔馬 (T2)

1 単元について

(1) 本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

- ・加法及び減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知ること。新A(2)ア(ア)
- ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。新A(2)ア(イ)

【思考力・判断力・表現力等】

- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりすること。新A(2)イ(ア)

【学びに向かう力・人間性等】

- ・数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

(2) 学習内容・題材について

【学習指導要領の位置づけ】

A 数と計算

(2) 加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。

イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え、それらの計算が確実にできること。

D 数量関係

(1) 加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができるようにする。

これまでに児童は、1位数同士の繰り上がりのない加法や繰り下がりのない減法について学習している。また、前単元においては、繰り上がりのない $++$ 1位数や $十何+$ 1位数とその逆の減法も学習してきた。

本単元では、3口の数の加法、減法を扱い、3つの数の加法・減法の場面も1つの式として表すことができることや、その計算の仕方について学習する。これは、今後、繰り上がりのある加法や繰り下がりのある減法の計算の仕方を考える過程で3口の数の計算を活用して解決することにつながる。そのため、3口の数の計算の式の意味や計算の仕方を丁寧に指導していく。

(3) 単元の評価規準

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
① 3口の加法, 減法および加減混合の場面を式に表すよさに気付いている。	① 3口の加法, 減法および加減混合の場面について, ブロックや図などを用いて考え, 式に表したり計算の仕方を考えたりしている。	① 3口の加法, 減法および加減混合の場面を式に表して計算したり, 式を読み取ったりすることができる。	① 3口の加法, 減法および加減混合の場面の意味について理解している。

(4) 児童について

児童に実施したレディネステストによると, 本学級の児童の平均正答率は86%であり, 10以下の加法・減法については, 正確に答えを求めることができる児童が多い。また, 自分の考えを伝えたり, 考えを聞いたりしようとする活動に意欲的に取り組める児童も多い。一方で, 計算を苦手としている児童も数名いるが, 計算をするときに指を使って数えたり, ブロックや図に表したりするなど具体物を用いることで素早く正確に計算ができるようになってきている。

(5) 単元の指導について

上記の学習内容のつながりや児童の実態を踏まえて, 本単元では, これまでに学習してきた加減計算の単元と同様に, 既習事項と関連づけながら3口の数の計算の仕方をブロックや図などを用いて考え, 表現したり説明したりする算数的活動を行っていく。

単元の導入場面において, 「 $4 + 3 + 2$ 」では, どの2つを先に足しても答えは同じになるが, 加法の交換法則は2学年の指導内容となる。ここでは, 式は答えを求めるためにあるだけでなく, 場面の様子を表すという役割があることに気付かせたり, 左から順に計算するという原則を捉えさせたりできるように, 増加の場面をブロック操作や図に表す活動などを通して実感を伴った理解が図れるようにしていく。

また, 3口の計算では, 2回の計算をすることになるが, 1回目の計算を残して確実に計算できるように, 途中の計算を書き添えるように指導していく。

2 単元の指導計画

時	学習活動	㊦問題, ㊦課題, ㊦まとめ, ㊦振り返り ・具体的内容 ※留意点	□評価規準【評価方法】 ⇒低位の子への手立て
① (本時)	場面を3口の加法の式に表す仕方や, その計算の仕方を考える。	㊦みんなで何びきになったでしょうか。 ㊦3つの数のとき, どんな式になるのだろう。 ・ブロックで考える。 ・式に表す。 ※3口の式に表すよさに気付かせる。 ㊦3つの数の足し算も, 1つの式にして, 順に計算する。 ㊦・式を書くことができましたか。 ・式で絵の様子を表す良さがわかりましたか。	関3口の加法の式に表すよさに気付くことができる。 【振り返り】 知3口の加法が用いられる場合を理解している。【練習問題】 ⇒ブロックを3口に分けて置いて操作するように助言する。
②	場面を3口の減法の式に表す仕方や, その計算の仕方を考える。	㊦残りは何びきでしょうか。 ㊦引き算も3つの数の式に表せるだろうか。 ・ブロックで考える。 ・式に表す。 ※ブロック操作と式の数値の順は対応しない場合もあることに留意する。 ㊦式に表し, 計算することができましたか。	知3口の減法が用いられる場合を理解している。【練習問題】 ⇒ブロックを3口に分けて置いて操作するように助言する。
③	場面を3口の加減混合の式に表す仕方や, その計算の仕方を考える。	㊦くるみは何個になったでしょうか? ㊦計算の仕方を考えよう。 ・ブロックで考える。 ・式に表す。 ㊦足したり, 引いたりした順番通りに計算することができる。 ㊦ブロックや図を使って, どのように計算すればよいか, わかりましたか。	考3口の加減混合の場面や計算の仕方を, ブロックや図などを用いて考えている。 ⇒場面ごとに加法か減法か判断させ, 問題の順番通りにブロックを操作させる。
④	学習内容の理解の確認とその定着を図る。	㊦練習しよう。 ・単元のまとめをする。 ・P.94「たしかめもんだい㊦」に取り組む。 ㊦勉強したことを使って, たくさんの問題を解くことができましたか。	技3口の加法, 減法および加減混合の場面を式に表して計算したり, 式を読み取ったりすることができる。 ⇒場面の様子をブロックや図に表させる。

3 本時の学習

(1) 本時の目標

- 3口の加法が用いられる場合を理解している。【知識・理解】
- 3口の加法の式に表すよさに気付くことができる。【関心・意欲・態度】

(2) 本時の評価

◇評価規準の具体（評価方法～練習問題【数学的な考え方】，ふり返り【関心・意欲・態度】）

- 3口の加法を1つの式に表している。【知識・理解】
- 3口の加法の場面を1つの式に表すよさに気付いている。【関心・意欲・態度】

(3) 本時の展開（1時間扱い 4時間目）

	学習活動	形態	※留意点 ◇評価規準【評価方法】
つかむ 5分	<p>1. 問題を捉える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ みんなでなんびきになったでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・4ひきのっていました。 ・3びきのりました。 ・2ひきのりました。 <p>○大型テレビを使って，場面を再現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに4ひき。 ・つぎに3びき。 ・そのつぎに2ひき。 	全体	<p>研究内容 I 目指す姿の明確化</p> <p>大型テレビを使って画像を示すことで，場面の様子や既習事項との違いを捉え，3つの数を用いて計算することを明確にする。</p>
	<p>2. 課題を明確にする</p> <p>○既習事項との違いを捉える。</p> <p>→数が3つになっている。</p> <p>→2回増えている。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>3つのかずのとき，どんなしきになるのだろう。</p> </div> <p>○本時の「目指す姿」を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの数の計算を，式に表すことができる。 		
考える 15分	<p>3. ブロックを使って考える</p> <p>○ブロックを動かす。</p> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <p>○ブロックの動かし方を発表する。</p> <p>○ペアでブロックの動かし方を伝え合う。</p> <p>○ブロックの動きを，図に表す。</p>	<p>個人</p> <p>全体</p> <p>ペア</p> <p>全体</p> <p>個人</p>	<p>※「2回計算する・足す」ことに気付いた発言を取り上げ，全体に広げる。</p> <p>※場面の様子をブロックで表せたことを確認する。</p> <p>研究内容 II 自分の考えをもたせる工夫</p> <p>ブロックの動かし方や図の表し方を全体で確認することで，式に表す見通しを十分にもたせる。</p>

	<p>4. 式に表す</p> <p>① $4 + 3 = 7$, $7 + 2 = 9$</p> <p>② $4 + 3 + 2 = 9$</p>		
学 び 合 う 1 0 分	<p>5. 全体で考える</p> <p>○①の考えを発表する。 → $4 + 3 = 7$, $7 + 2 = 9$</p> <p>○②の考えを発表する。 → $4 + 3 + 2 = 9$</p> <p>○2つの考えを比べる。 ・①と②の違いは何ですか。 → 式が2つと1つ。 ・問題の場面を表しているのはどちらでしょう。 (気付き) → 最初に4匹, 次に3匹, その次に2匹だから②。 → 7という数は問題に出てきていないから, ②。</p> <p>○計算の手順を確認する。 ・1つの式に数が3つあるけど, どうやって計算するのでしょう。(補足) → はじめ, $4 + 3$ をして7。 → つぎに, $7 + 2$ をして9。</p> <p>○2つの考えの共通点を確認する。 ・計算の手順を確認したけど, この計算をどこかで見たことはありませんか。 → ①の考えと同じ。 → ②は式が1つだけど, 計算していることは②と同じ。</p>	全体	<p>※1つ目の式 ($4 + 3 = 7$) で止まっている児童がいた場合には, 他の児童に続きを発表させる。</p> <p>研究内容Ⅱ 話し合いを促すための工夫</p> <p>異なる計算方法を提示して比較し, それぞれの考えに対する気付きや補足を問いつ返すことで, 理解を深めることができるようにする。</p> <p>※①②それぞれの考えの価値を認めるように留意する。</p> <p>①既習事項を活用している。 ②1つの式で, 場面の様子をわかりやすく表している。</p> <p>※前から順に計算することを確認しながら, 途中の計算を書き添えていく。</p>
ま と め る 7 分	<p>6. 学習をまとめる</p> <p>・計算していることはどちらも同じだけど, 場面の様子をわかりやすく表しているのはどちらでしょう。 → ②だ。</p> <p>・3つの数の式の時は, どこから計算したらよいでしょう。 → 始めから順に計算する。</p>	全体	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>3つのかずのたしざんも, 1つのしきにして, じゅんにけいさんする。</p> </div>		
	○学習したことをノートにまとめる。		

生 か す 6 分	7. 練習問題を解く ○教科書 P.91 1 に取り組む。 ○早く終わった児童は、教科書 P.91 2 ① と同じ数 を用いた練習問題に取り組む。	個人	※学習したことを使って、場面の様子がわ かるように式に表すことを確認する。 ◇ 3口の加法を1つの式に表している。 【知識・理解】 ◇手立て◇ ブロックを3口に分けて置いて操作す るように助言する。
振 り 返 る 2 分	8. 本時の学習を振り返る ○振り返りシートによって振り返りをする。 「できたこと、わかったこと」 ・1つの式にすると、場面の様子や式を簡単に表 せることがわかりましたか。 ・3つの数のたし算も1つの式に表すことができ ましたか。	個人 全体	◇ 3口の加法の場面を1つの式に表すよ さに気付いている。【関心・意欲・態度】 研究内容Ⅲ 振り返りシートの活用 学習の成果について、振り返りシートに 3段階で記入することで、自らの成長を 自覚させ、主体的に学習に取り組むこと ができるようにする。

(4) 板書計画

9/3

① みんなでなんひきになつたでしょうか。

かずが3つ2かひえる

はじめて つぎに そのつぎに

4 + 3 + 2

か 3つのかずのとき、どんなしきになるのだろう。

しき $4 + 3 = 7$ (2つ)

しき $7 + 2 = 9$ (1つ)

しき $4 + 3 + 2 = 9$ (7)

② 3つのかずのたしざんも、1つのしきにして、じゅんにけいさんする。

9 | 10 - 1